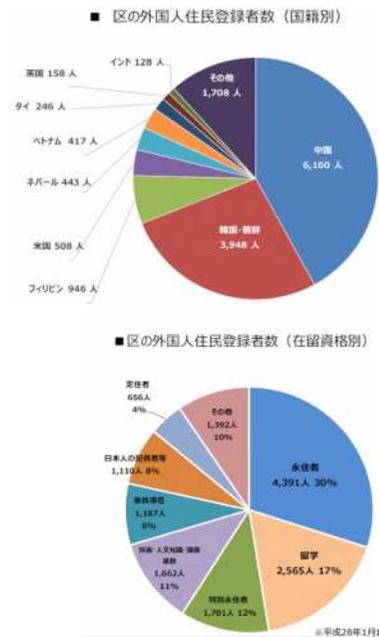


2 練馬区の外国人人口について

1) 練馬区の現状

- 外国人人口は、東日本大震災を契機に減少したが、平成25年を堺に増加に転じ、平成29年1月1日には16,422人となり、過去最高の登録者数となった。
- 人口増減率でみると、平成26年度以降の増加率の伸びが顕著であり、平成28年 平成29年は前年比12%の増加と急加速している。
- 人口構成としては、日本人と同様、老年人口が毎月増加している。要因としては、特別永住者が誕生日を迎え、老年人口に移動していることが考えられる。
- 国籍別には、中国国籍の登録者数が一番多く、次いで韓国・朝鮮籍となっている。また、近年、ベトナム、ネパール、ミャンマー国籍の登録者が増え続けている。
- 在留資格別でみると、「永住者」、「特別永住者」、「日本人の配偶者」といった定住性の高い外国人が多い。



2) 外国人への施策

《日本語講座の開催》

- 日本語が母国語でない区内在住・在勤・在学の方向けに初級日本語講座を開催

《国際交流サロンの開催》

- 外国人と日本人が気軽に集まり、情報交換をする場として、国際交流サロンを開催

《多言語による情報提供》

- 文化交流ひろば情報コーナーで、英語、中国語、ハングルなどの言語で、日本語を勉強するための情報や、外国人が地域で生活するための様々な情報を提供

3) まちづくりにおける将来的な課題

総人口に占める外国人人口の割合は約2%と、23区の中でも22位と下位にあるものの、他の区と同様に今後も増加傾向が続くことが予想される。

さらに、練馬区は都心の近くに立地する住宅都市であることから、日本で就業する外国人の生活の場として、今後も選択される可能性がある。

今後のまちづくりでは、建物内や案内の多言語表示への配慮や多文化共生のコミュニティづくりの視点が求められることになる。